

粕谷和夫の観察日記。9月29日は中秋の名月。一升瓶に河原から取ってきたススキをさしました。団子を買ってきて、栗の代わりに山から拾ってきたトチの実を供えました。大きな満月が見られることを期待します。（10月27日13夜）

紅葉台



新聞

第98号

2023年

10月7日

発行人：関谷 孝

オニヤンマ君

今年の夏、ネットで話題になっているのが「オニヤンマ君」。SNSでもアマゾンで100万個売れたと評判になっています。



私が興味を持ったきっかけは、今年の夏祭りの時、植木屋さんが桃源台公園のクヌギの木にスズメバチがこないように布を巻いていました。今年は特に2本の大木の樹液がたくさん流れていて辺りに甘いにおいを漂わせていました。お祭りの時にスズメバチに刺されないようにとの配慮です。その植木職人さんの帽子にオニヤンマ君が付いていました。聞いてみると「虫よけです」「効果がありますよ」と言っていたので半信半疑でしたが、プロの方が言っているのだからあながち嘘ではないかもと。早速話の種に購入しました。アマゾンではいろいろありますが1000円前後でした。（最近では薬局やドンキでも売っていると読者の方が教えてくれました）それからは毎日の犬の散歩のときに帽子に着けて歩いています。

専門家は「科学的に効果があると証明されていない」と言いますが、実感では、多少効果があるように感じます。一番は、夏にある「メマトイ虫」（目や顔の周りに来る小さな虫）がなくなったかなと思います。来たとしてもUターンします。蚊には効果があるかはまだよくわかりません。この時期アブに刺されると患部が腫れてかゆくなるのですが、まだ刺されていません。もともと、殺虫剤や蚊取り線香の煙には肌につけることに抵抗があり、また気管が弱いのでできることなら避けたいと思っていました。このようなレプリカでも効果があるなら、薬品を買うこともなく、経済面でも助かります。自然には自然の知恵で対抗するのもいいアイデアですね。それにオニヤンマ君を身に付けていると2度見されます。そこから話が始まって知らない人とも「実は・・・」と話が始まるのも楽しいです。

そもそも、オニヤンマは、国内を代表する大型のトンボです。最近は見かけなくなりましたが、よく田んぼのあぜ道で同じところを巡回しているのを子供のころ見ました。大きさはオオシオカラトンボが5cmなので、その2倍はあります。食性は、蚊、アブ、ハチ、チョウなどの昆虫やクモ類を捕食します。1日に体重の10%を食べる大食漢です。生態プラントでは、昆虫界の高次消費者（肉食昆虫）です。虫界最強のハンターともいわれるゆえんですね。そのため他の虫は危険を感じて逃げるので＝虫よけになるというわけです。実際に使っている人の投稿を見ると「テントの中につるとアブが入らない」「窓辺につるとアシナガバチが巣をつくらなくなった」「トラロープ（木と黒の混じったロープ）も効果がある」

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

「帽子やリュックにつけると飾りにもなっていて」「窓辺で風になびかせると本物みたいで効果抜群」「赤ちゃんがいる家庭では薬剤を使いたくないので安心」等のユーザーコメントがありました。なにはともあれ、自然や地球に優しい生活になるのではないのでしょうか。



最近では姉妹編で「アカネちゃん」が発売されています。（文責 関谷）犬友達も「いいかも」と付けています。

紅葉台防災・夕涼み会 8月19日



今年は、関東大震災から100年目にあたります。そこで「関東大震災100年出前講座」を自治会主催で行いました。（石川澄江さん地域防災コーディネーターDVDから）内容は、①関東大震災について。1923年11時58分、相模湾を中心とした地域を震源とするM7.9の地震。最大震度は6強。（現在では、7～6弱）。火災による死者が9万2千人。住宅倒壊による死者が1万1千人。ジブリ映画「風立ちぬ」でもこの時の東京の街の状況が描かれています。最後に一部のアニメを荒井由実さんの「ひこうき雲」とともに鑑賞しました。



②地震の被害は家屋の倒壊。家具などの転倒や落下。ガラスの破片による怪我など。そのための備えとして、家屋の新耐震基準を作る。家具などの転倒防止。出火、延焼を防ぐ。地域の防災力強化。などがあげられます。

今回ためになったのは、ハワイのマウイ島火災でも起きた「通電火災」です。電気が電線から流れてそれが出火の原因になることです。当時は電柱が木だったので火の回りが早かったようです。したがってブレーカーを落とすことやガス栓を止めることが重要です。また、そういう時は人々の不安に乗じてデマが広がります。それが一番怖いことかもしれません。紅葉台では「向こう3軒両隣作戦」で日ごろからのつながりで地域の防災力を高め安心して暮らせるように取り組んでいます。

いざという時に落ち着いてできることを今から考えていきたいものです。この日はビールやカレー（備蓄非常食）、お菓子などの配布がありました。防災も堅苦しくなく、楽しく集い合って学ぶことを委員会の方が考えてくれました。後半雨が降り出したこともありま



したが約50名の参加でした。尚、**12月10日（日）起震車による体験**があります。皆さんが顔を合わせ仲良くなるチャンスですので奮って参加ください！

粕谷和夫の観察日記。9月29日は中秋の名月。一升瓶に河原から取ってきたススキをさしました。団子を買ってきて、栗の代わりに山から拾ってきたトチの実を供えました。大きな満月が見られることを期待します。（10月27日13夜）

【付録】

めじろ台 オープンガーデンのお知らせ

10月22日（日）から28日（土）まで
バラの花・秋の草花鑑賞できます。
興味のある方ウェルカム！！です。
散歩の足を延ばしてお出かけしませんか

QRコードからもマップがダウンロードできます。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。